



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

会員のための部会誌

“Colloid & Interface Communication”

C & I Commun について

コロイドおよび界面化学部会では、部会員に向けて、“Colloid & Interface Communication (C & I Commun)” という名称のニュースレター（部会誌）を発行しています。1976年の部会発足時にスタートしてから今年でVol. 44となり、部会員の皆様に長年親しまれています。毎号充実した会報誌を届けられるよう、編集委員 20 名（2019 年度）がアイデアを出し合って取り組んでいます。当部会は、大学・研究機関と企業の両方から研究者が集まる組織であり、幅広いニーズを汲み取って、皆様に読みたいと思って貰える“C & I Commun”を目指しています。

主な目的は、部会員に向けた討論会やイベントの告知、学術的なレビューやニュース、産業界からのトピックスなどを掲載することです。併せて、「今そこにあるもの」というペーパーならではの強みを活かしたコミュニケーションツールとしても、皆様に手に取っていただきたいと考えています。

C & I Commun 掲載の情報

“C & I Commun” 各号は、以下のよう
な内容で構成されています。

- ① 巻頭言 ② 特集記事
- ③ Interface ④ Topics
- ⑤ 研究室紹介
- ⑥ リレートーク

～コロイド・界面との懸け橋

- ⑦ 部会から ⑧ 会告

学術的な記事は、Interface と Topics の
2 種類があります。

Interface では、大学・研究機関の研究者によるコロイドおよび界面化学に関連した基礎的、学術的な最新の研究を紹介しています。その中で、若手ワーキンググループと連携し、毎号 2 件程度「若手注目研究」と題して紹介しています。

Topics では、企業の研究者によるコロイドおよび界面化学に関連した応用的、産業的な研究（商品紹介を含んでも可）を紹介しています。

また、3 月発行の No. 1 には日本化学会春季年会のコロイド・界面化学部門のプログラムが掲載されます。

読む価値満載の「特集記事」, 「表紙」 にも工夫が!

特集記事では、担当委員の腕の見せ所です。知恵を絞って、毎号独自のテーマを決定しています。2019 年のテーマを紹介しますと、

No. 1 化学会と部会のインターフェース
No. 2 つくばにあるベンチャー企業の紹介

No. 3 Okinawa Colloids 2019（コロイド
および界面化学討論会 第 70 回
記念国際会議）Symposium へのお誘い

No. 4 海外大学の留学はどうですか？

No. 1 では、部会に軸足を置きながら日本化学会が運営する活動を積極的に活用していく足がかりになればと考え、企画しました。

No. 2 では、大学・国研および民間の研究所在が密集し、約 2 万人の研究者が集結している「つくば市」にあるベンチャー企業の活動と、彼らを支援する取り組



年 4 回発行の部会誌 “C & I Commun”

みについてスポットを当てました。

No. 3 では、「Okinawa Colloids 2019（コロイドおよび界面化学討論会 第 70 回記念国際会議）」に合わせて、討論会で企画された一般シンポジウムの研究背景や動向、講演内容などをまとめています。

No. 4 では、海外での留学や研究活動を考える際の参考に、大学の研究者だけでなく、企業から留学した経験者からも話を聞いた興味深い内容になっています。

また、各号の表紙には、前年の「科学奨励賞」「技術奨励賞」の受賞者の顔写真と研究内容がカラーで掲載されます。若手研究者のモチベーションの 1 つになっているとかいないとか……。

このような記事が毎号掲載されている“C & I Commun” は、お手元にあると必ず役に立ちます。コロイド・界面化学やその周辺の分野にご興味のある方は、ぜひ一読下さい。

部会ホームページ^{*}には、“C & I Commun” の目次を掲載しています。部会員以外の方にもぜひご覧いただければ幸いです。

※ <https://colloid.csj.jp/newsletter/>

〔2019 年度 C & I Commun 編集委員長
景山元裕（ライオン歯科材(株)）〕

© 2019 The Chemical Society of Japan